

# 平成30年度共同研究「機械加工技能検定1級取得者の技能向上に対する支援の為の教材開発」を開始する！！

平成30年4月から生産技術科 黒木 猛教授を中心に、平成30年度共同研究「機械加工技能検定1級取得者の技能向上に対する支援の為の教材開発」を開始しました。九州職業能力開発大学校では、福岡県を中心とした企業様と装置開発や人材育成に関する様々な共同研究を実施しています。その一環として北九州市在住の企業様と人材育成を目的とした教材開発をしています。

今回の共同研究の主な目的は以下の4点です。

- ① 教材開発能力の習得。
- ② 人材育成能力の習得。
- ③ 7項目の現場管理能力の習得。

「工程管理」「作業管理」「品質管理」「原価管理」「安全衛生管理」「作業指導」「設備管理」

- ④ 国家試験技能検定機械加工特級の取得。

九州能開大では、在職者に対してNC加工を含めて機械加工技能検定1級および2級に対応した能力開発セミナーを展開し多数の方に合格して頂いています。その中で、受講者の方達から1級を取得した後の学習の機会が無いとの声が聞かれます。特に、中小企業においてはその傾向が顕著のようです。早い方であれば、20歳代で1級に合格できるので、その先として「指導員免許」「複合技能士」「特級機械加工技能士」等を紹介し、それぞれの資格取得の手伝いができればと考えています。「指導員免許」については、各都道府県の職業能力開発協会の「職業訓練指導員講習会」を紹介できるし、「複合技能士」と言うことなら機械加工に限らず他の職種を含めて現状の体制で受験の支援ができます。しかし、「特級機械加工技能士」については管理者または監督者が通常有する技能と言うことでその内容は多岐に渡ります。そこで、今回は九州能開大のセミナーを受講し1級に合格をされた方と九州能開大の職員で勉強会を立ち上げ、「特級機械加工技能士」の取得を目指すと共に、その中で得た知識を教材化し企業の技能教育の高度化に役立てて行きます。また、教材の開発を行うことで単に企業の従業員に技能検定を受験させるだけでなく、その後指導者の立場として後進の指導ができる人材を養成する持続可能な仕組み作りをしたいと考えています。

(文責 八崎)

共同研究の名称：機械加工技能検定1級取得者の技能向上に対する支援の為の教材開発

共同研究の期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

共同研究のメンバー：小島 勝己、大庭英利、黒木猛、斉藤 哲也、楠元智久、八崎透



共同研究の精鋭